



模擬訓練、若松区で初実施！イベントから「しくみ」構築へ

若松区高須で初めての模擬訓練実施！

若松区高須で初めての模擬訓練が開催されました。当日はあいにくの雨模様を吹き飛ばすような参加者129名の熱気がみなぎっていました。捜索隊の出発前には、地元「松島医院」のケアマネージャーさんと若松区社協有志で急遽立ち上げた「劇団たかす」が声掛けの良い例と悪い例を熱演。8名の不明者役は、多くの皆さんの「声掛け練習」になるようにと、それぞれ15枚の「みつつけてくれてありがとうカード」を持って時間いっぱいエリア内をウロウロしました。捜索隊は町内をベースに20組編成。捜索の連絡を受ける事務局は、福祉協力が中心。電話連絡の内容を復唱し、見つかった時間・場所・様子などを記録用紙に記入してホワイトボードに貼っていききました。話し合いを重ねる中で、連絡網や福祉協力員・民生委員のお宅に印をつけた地図もできました。個人所有の青パトも参加者の見守りに出動。GPS対応の携帯電話を持った方が同乗して、GPSの利点と弱点を体験しました。この半年、打合せ会に何回か参加させて頂きましたが、みんながよりよい訓練を目指して、意見を述べ共有するという流れがごく自然にできていったのは、まちづくりの観点からも素晴らしい成果だと思えます。捜索に参加した子どもさんも、反省会で認知症や高齢の方への思いを素直に語り、共感を呼びました。高須の模擬訓練実施で北九州市の目標だった「平成29年度までに各区で一箇所は模擬訓練を実施する」が一年前倒しで達成されました。皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。

小倉南区長尾で4回目の訓練！

小倉南区長尾で130名の参加で4回目の模擬訓練が開催されました。校区社協、各事業所の若手職員さん、中学生の多数参加が特徴です。単なるイベントで終わらない、「しくみ」構築への強い思いも伝わってきます。まず、不明者役の情報や捜索ルートを、参加者全員がパワーポイントで共有しました。続いて「ふれあい家族」の野村美代子さんによる詳しい説明や、事業所の皆さんの寸劇で声の掛け方を確認して出発しました。参加の子どもたちに元気をもらい、地域の連携を肌で感じる温かい訓練でした。捜索終了後、愛情いっぱいのカレーに皆で舌鼓を打ちました。反省会では各グループリーダーさんがしっかり意見をまとめて次年度につなげました。小学校での紙芝居による啓発活動など、子どもへの働きかけもよい流れを作っているようです。皆さんお疲れ様でした。

認知症支援・介護予防センターが 第5回健康寿命をのばそう！アワード」 厚生労働省老健局長賞・自治体部門優良賞受賞しました！



野村さんから声の掛け方について詳しく教えてもらいました。(長尾)



メモの様式、地図のシール添付皆で考えた形は大きな財産に！(高須)

人権を考える5分間のラジオ番組「明日への伝言板」

「明日への伝言板」にカフェ・オレンジが取り上げられ、「誰もが知っておきたいカフェ」という題名で放送されました。CD化されたものが12月中には届く予定です。カフェでも紹介したいと思います。

★カフェにもサントさんが★



「カフェ」の「う・ら・き」カフェマスターのスキルアップと、カフェの課題解決に向けて開催した「マスターさんス・トップアップ研修会」(全6回)は若年性認知症、特養、医療機関の新たな取り組み、介護保険サービス、認知症カフェの作り方、在宅医療の問題、それぞれについて知るといふ内容でマスター中心に延べ376名が参加しました。ミーティングで話題になった「うつ」についても、お隣の精神保健福祉センターのご協力で研修会が実現し、64名が学びました。

また、11月下旬から年度末までの予定で居場所の調査を始めました。カフェ・オレンジの役割の一つに「サロン作り」の支援があるからです。深刻な孤立が多いとされる男性をお誘いできるような食事の提供と結び付けられないか？今のメンバーの誰かが認知症になっても、ずっとこのサロンが居場所として機能できるように、認知症を学び、「認知症カフェ」にグレートアップできないか？有志カフェマスターも加わって調査活動をしていきます。